



UN-04 正光院・今富塚山古墳

境内南側にある推定全長110メートルの大型前方後円墳です。土取りによって後円部が大きく壊されていますが、出土した土器や後円部が大きく高い特徴から、古墳時代前期の築造と考えられます。正光院は真言宗豊山派の不動明王を本尊とする寺院で、江戸時代は海保遍照院の末寺でした。入口に建つ庚申塔には、享保20年(1735)の銘と夜明けを知らせる鶏が刻まれています。



UN-05 秀善禅寺

寺院の多い今富地区にあり、祥雲寺とともに曹洞宗の寺院で、立野山と号し、本尊は阿弥陀如来です。当寺で保管する地藏菩薩立像は、ヒノキ材の一木造で衣をゆったりとまとい、引き締まった表情で立つ様を表し、慶派の作風を継いでいる13世紀半ば頃の作と推定される優品で、市指定文化財となっています。当寺の手前から西にある愛宕神社はかつて景勝の地として知られています。



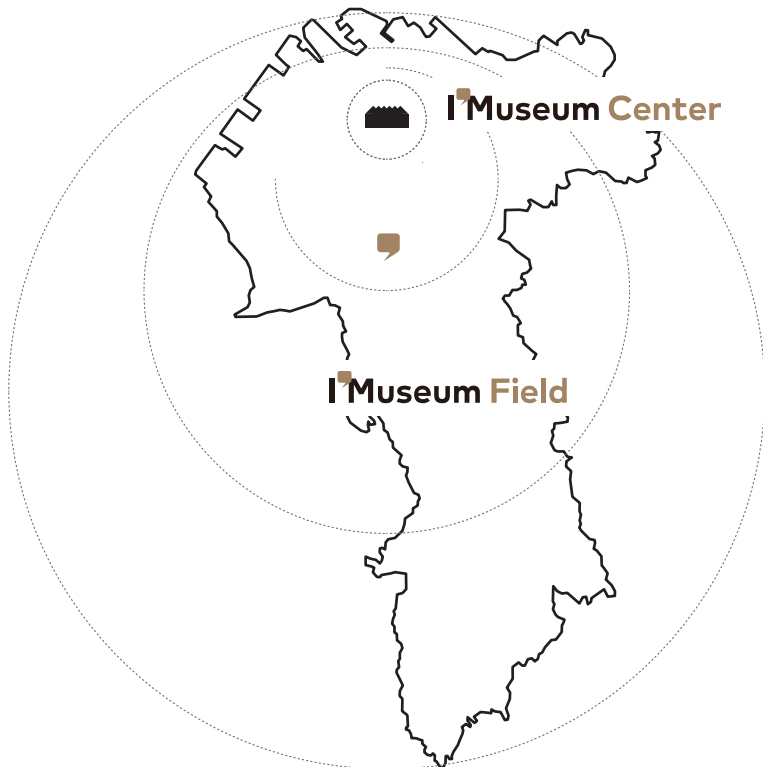
UN-06 蓮蔵院

真言宗豊山派の寺院で、天長7年(830)相模国大住郡の沙門慈恩和尚の開山と伝わります。陀彫観音として知られる県指定文化財の聖観世音菩薩立像は、平安時代後期の作とみられ、33年に一度御開帳されます。江戸時代には、引田村の名主立野太郎兵衛家により、寺院が再建され、宝暦4年(1754)には、江戸の俳人雪中庵蓼太と門人が観音像開帳の際、句額を奉納しています。



UN-07 雷神社

別雷神、少彦名命、日本武尊、木花咲耶姫命を祭神とし、かつては雷公大明神と称していました。明治時代以降は村社として信仰され、社殿には、出羽三山を描いた明治11年(1878)年及び大正2年(1913)に当地区の25名が奉納した三山参拝記念大絵馬があります。近隣にあった子安神社・日吉神社・大鷲神社・浅間神社を合祀し、境内には文化5年(1808)銘のある手水鉢等があります。



見学される皆様へ

- ★歴史遺産は、郷土の歴史文化を伝えてくれるかけがえのない財産です。個人所有物であったり、私有地に置かれている場合もありますので、マナーを守って見学しましょう。
- ★駐車場は基本的にありませんので、公共交通機関を利用しましょう。路上駐車や無断駐車は厳禁です。
- ★社寺の境内や墓地は、信仰の対象です。行事が行われていたりする場合もあるので、迷惑にならないよう行動しましょう。
- ★ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ★他人の家や社寺など建物の中に、無断で入らないようにしましょう。
- ★見学の際は、所有者の許可を得るのが基本です。特に団体で見学されるような場合は、事前に了承をとるようにしてください。
- ★保存や管理の都合上、公開日が決まっていたり、見学ができない場合があります。事前に確認して、公開日に見学しましょう。

いちほらフィールドマップ

制作・発行：市原市教育委員会

市原歴史博物館 〒290-0011 千葉県市原市能満 1489 番地 Tel.0436-41-9344 Fax.0436-42-0133

令和7年3月 第1版第1刷発行

I Museum Field

海上



姉崎古墳群最古級の今富塚山古墳が残り、古代に置かれた海上郡が地区名の由来とされる海上エリア。平安時代の陀彫り観音をはじめとする多くの歴史遺産を有し、江戸時代には久留里街道中往還を中心に、巡礼者や俳人の行き交う文化の結節点として栄えました。

I Museum



UN-01 諏訪神社

創建は天応元年(781)に信州諏訪大社より勧請された古社です。建御名方命、八坂刀賣命を祭神とし、水の神様として農耕や生活用水を司っています。境内にある、天保12年(1841)の天満宮小祠には、当村の渡辺清右衛門や氏子中を願主として近隣の門人13カ村が刻まれています。その他、熊野神社や八幡神社などが末社として祀られ、境内脇には出羽三山供養塚が築かれています。



UN-02 明照院

古河公方足利高基の子で関東管領職を継いだ上杉晴直がこの地に隠棲し、足利姓に復したことから「宮原御所」と称し、晴直菩提の為に創建したと伝わります。天明の大飢饉からの救済を機に開かれた市原郡八十八ヶ所霊場と上総八十八ヶ所霊場の22番札所となっています。明治6年開校の宮原小学校は当院が供用され、境内には薬師堂、門前には庚申塔や地藏など多くの石造物が並びます。



UN-03 円満寺

今富の根本藤右衛門清胤が開基となり、円満上人が文禄3年(1594)に開山したと伝わります。本尊の木造不動明王坐像は市指定文化財で、像内に元禄4年(1691)の修理願文と木造不動明王坐像、さらにその胎内に銅造不動明王坐像を納める一身三体仏で、南北朝時代の作と推定されます。歴代阿闍梨の供養塔と考えられる天文16年(1547)銘の宝篋印塔は関西式の特色を持ちます。